

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催
第6回「言語フィールド調査ワークショップ@宮古島」募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)では、「アジア・アフリカの現代的諸問題の解決に向けた新たな連携研究体制の構築」プロジェクトのなかの言語学系事業「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築」の活動の一環として、以下の内容で「言語フィールド調査ワークショップ@宮古島」を開催します。

記

1. 開催期間 令和元年12月16日(月)～12月22日(日)
2. プログラム 本ワークショップは、消滅の危機に瀕する少数言語の包括的記録を目的とした言語ドキュメンテーション研究を活性化するために、危機言語の調査・記録研究に関心がありこれからコミュニティーと連携して研究テーマとして長期的に携わっていく意志のある大学生、大学院生を対象にフィールド調査の実地研修を行うものです。約1週間にわたるワークショップでは、沖縄県宮古島市の池間地域において、主として宮古・池間方言を対象として、話者コミュニティーの中で実際に聞き取り調査を行います。具体的活動としては以下を行う予定です：
 - ・話者やコミュニティーとの関係構築
 - ・言語使用実態・言語意識に関する情報の収集
 - ・多様な言語資料の収集と整理
 - ・伝統的生活の社会的・文化的情報の収集
 - ・コミュニティーのニーズ・課題の調査および課題解決法の考察講師：中山俊秀(AA研)；大野剛(アルバータ大学)
3. 開催場所 沖縄県宮古島市池間地域
4. 応募資格 これまで言語フィールド調査の経験が少ない学部生、大学院生の方。言語データ収集・処理・分析の基本スキル(音声書き取り、音素の分析、語や文の構造分析スキル)は必須ではありません。調査は日本語で行いますので、日本語でのやり取りに支障の無い方。
5. 選考方法 応募者多数の場合は応募フォームの内容による選考をします。

6. 募集人員 6名前後

7. 参加費 受講料は無料ですが、ワークショップ開催地(宮古島)までの旅費およびワークショップ期間の滞在費は自己負担となります。

8. 応募方法 以下のページを参照してください。
<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/191216-flws>

9. 応募締切 令和元年10月3日(木)日本時間23:59(必着)

10. 選考決定 受講の可否は、令和元年10月中旬までに本人あてに通知します。

11. 問合せ先 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
中山俊秀
Email: nakayama [at] aa.tufs.ac.jp